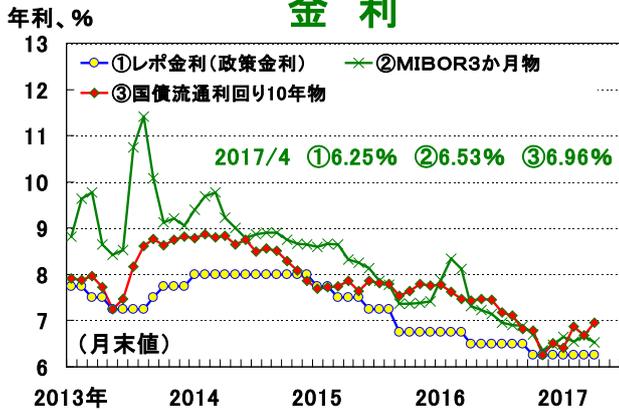


# グラフで見るインド経済 2017年5月号(No. 89)

インド景気は回復基調にある。まず、3月のコア産業生産指数は前年比+5.0%と前月の伸び(同+1.0%)を大きく上回った。また、4月の製造業PMIは52.5(前月も52.5)と4か月連続で中立水準の50を上回り、製造業の景況感も足元で堅調に推移している。内需をみると、3月の新車販売台数は前年比+10.0%と前月の伸び(同+9.0%)を上回った。外需についても、同月の輸出が前年比+27.6%(前月は同+17.5%)と5年半ぶりの高い伸びを記録した。もっとも、2月の海外からの直接投資純流入額は2015年6月以来の低水準となった。

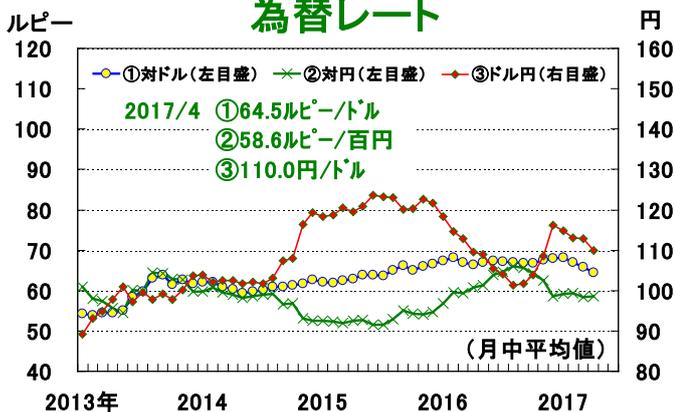
## 金利



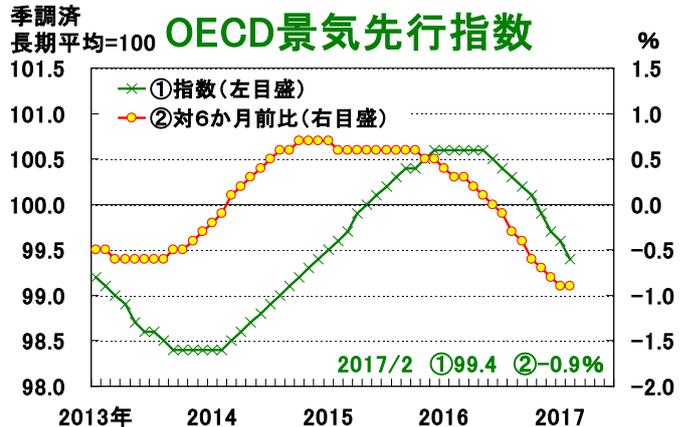
## 実質GDP成長率



## 為替レート



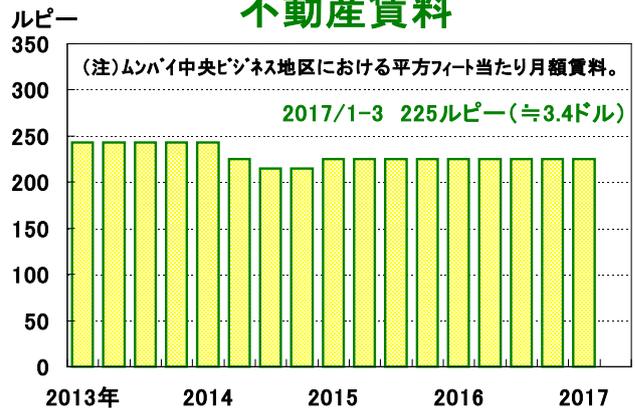
## OECD景気先行指数



## ムンバイ指数(株価)



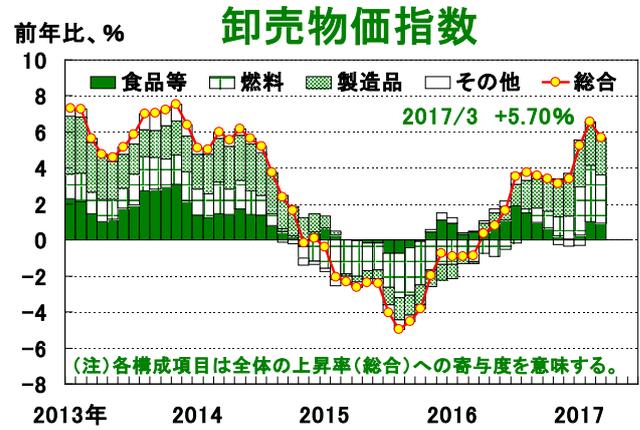
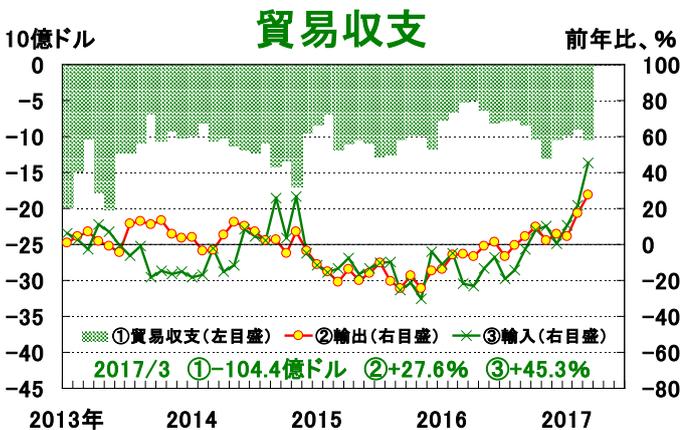
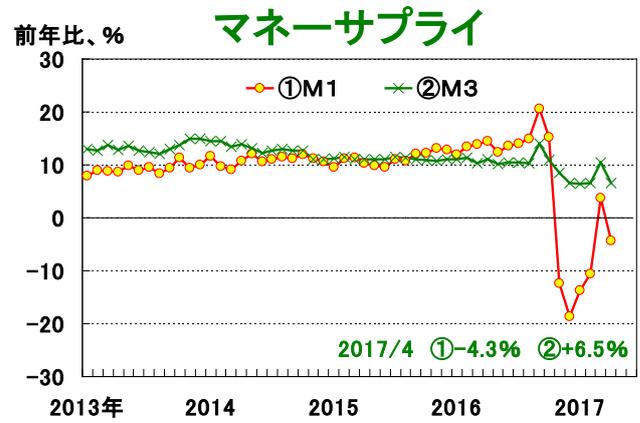
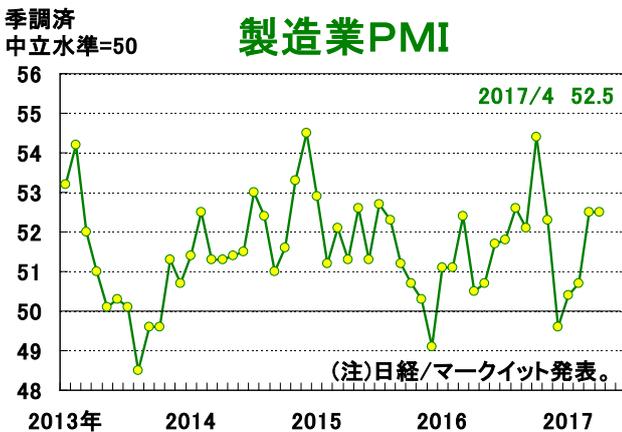
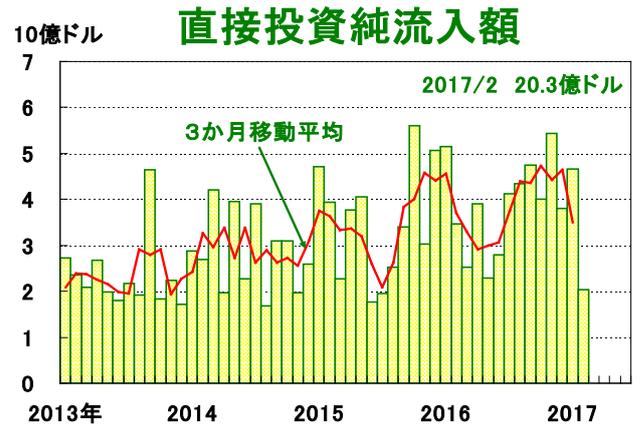
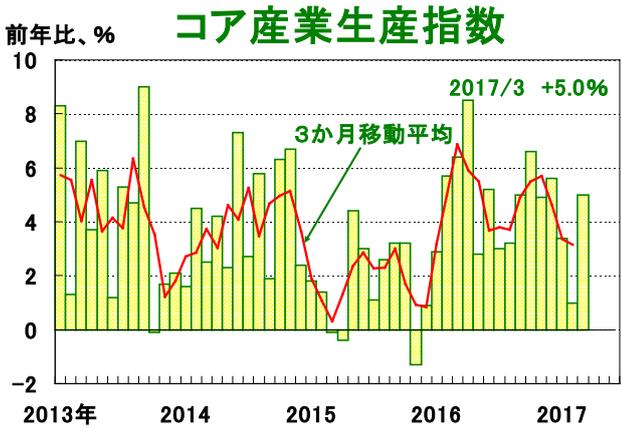
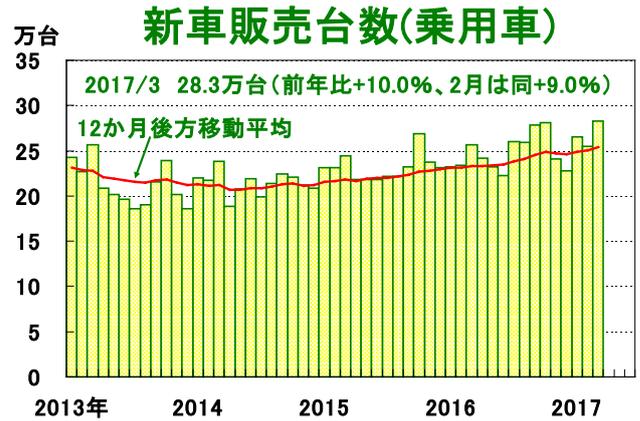
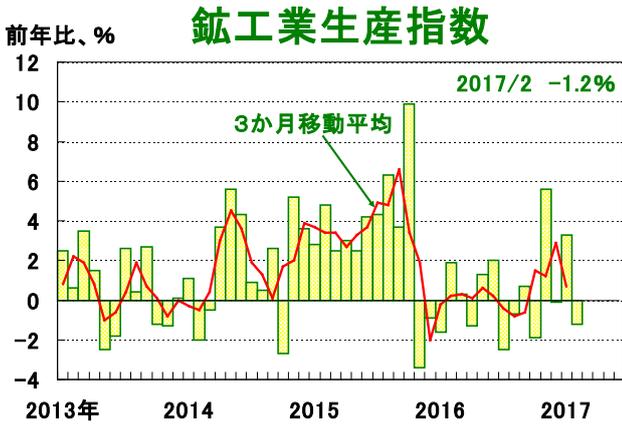
## 不動産賃料



**【今月のトピック:4月から酒類の販売規制が強化】** 2015年のインドの交通事故による死亡者は14.6万人、前年比4.6%増となった。交通事故の一因である飲酒運転を防止するため、本年4月から国道ハイウェイの500メートル以内の地域での酒類販売を禁止する措置が導入された。この規制は、酒販店だけでなく、レストランやバーも対象となる。このため、観光関連産業に悪影響が発生することが懸念されている。歳入に占める酒税の比重の大きい地方政府のなかには、道路の行政上の区分を見直すことにより規制の影響を軽減しようとする動きも出ている。

(出所) インド準備銀行、インド統計・計画実施省、OECD、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・同通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。